

熊本県体育協会

平成29年

国際・全国スポーツ大会優勝祝賀会

加盟団体長・理事長会 街頭募金活動 第72回県民体育祭表彰

第73回国民体育大会冬季大会

熊本県選手団成績



スポーツ少年団 総合型地域スポーツクラブ

ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト

2018アンチ・ドーピング規定

スポーツ安全保険



熊本県体育協会

<http://kumamoto-sports.or.jp>

No.118

スポーツくらじ



この会報誌は、
スポーツ振興くじ助成金を
受けて実施しています。

平成29年 国際・全国スポーツ大会 優勝祝賀会



主催者代表あいさつ
公益財団法人
熊本県体育協会会長
甲斐 隆博 氏



激励のことば
熊本県副知事
小野 泰輔 氏



激励のことば
熊本県議会議長
岩下 栄一 選手



選手代表謝辞
熊本県警察
西村 英久 選手

平成29年国際・全国スポーツ大会優勝祝賀会を1月13日（土）にホテル日航熊本（熊本市）に於いて、加盟団体や関係機関・団体等から250名を超える皆様に参集をいただき開催いたしました。

祝賀会では、小野泰輔熊本県副知事並びに岩下栄一熊本県議会議長から激励のことばを賜るとともに、優勝者の紹介や大会の様子等のビデオ上映を行いました。

また、優勝者を代表して全日本剣道選手権大会で優勝しました西村英久選手（熊本県警察）が謝辞を述べ、今後の飛躍を誓いました。

平成29年国際・全国スポーツ大会優勝監督・選手一覧

	大会名	氏 名	所 属		大会名	氏 名	所 属	
陸上	第72回国民体育大会	監督 平川 貴浩	熊本北高等学校	自転車	第58回全日本学生選手権	選手 松本 憲斗	鹿屋体育大学（ルーテル学院高等学校卒）	
		コーチ 立山 雅浩	熊本西高等学校			選手 中村 賢人	朝日大学（九州学院高等学校卒）	
		選手 井手上大翔	熊本西高等学校	テニス	第79回全日本ベテラン選手権	選手 藤村 良一	かずやハウジング	
水泳	第93回日本選手権	選手 野中 大暉	日本体育大学（八代工業高等学校卒）	卓球	第84回全日本大学総合選手権大会	選手 安藤みなみ	専修大学（慶誠高等学校卒）	
	日本スポーツマスターズ2017	選手 入江 和也	熊本県水泳協会		全日本選手権大会（マスターズの部）	選手 池内 祥治	SEIZANクラブ	
		選手 米加田 愛	ヴェオリア・ジェネッツ(株)					
選手 野間寿美子		熊本県水泳協会						
馬術	第51回全日本高等学校競技大会	菊池農業高等学校		バドミントン	ドイツオープン	選手 福島 由紀	再春館製薬所	
		監督 塚本 親治				選手 廣田 彩花	再春館製薬所	
		選手 平山 直人	選手 白木 琴弓			選手 山口 茜	再春館製薬所	
		選手 吉永 翔司	選手 新留辰汰朗		選手 福島 由紀	再春館製薬所		
		選手 牧岡 真志	選手 渡邊 花		選手 廣田 彩花	再春館製薬所		
	第72回国民体育大会	監督 中島 貴弘	南陵高等学校		タイインターナショナル	選手 志田 千陽	再春館製薬所	
		選手 平山 直人	菊池農業高等学校			選手 松山 奈未	再春館製薬所	
		選手 吉永 翔司	菊池農業高等学校		第60回全日本社会人選手権大会	選手 志田 千陽	再春館製薬所	
		選手 森口 仁	阿蘇中央高等学校			選手 松山 奈未	再春館製薬所	
自転車	第40回全国高等学校選抜大会	監督 中田 将次	千原台高等学校		選手 峰 歩美	再春館製薬所		
	2017JOCジュニアオリンピックカップ競技大会	選手 中富 尚子			中国オープン	選手 山口 茜	再春館製薬所	
	第52回全国都道府県対抗大会	監督 安達健太郎	九州学院高等学校		第71回全日本総合選手権大会	選手 福島 由紀	再春館製薬所	
		選手 松本秀之介				選手 廣田 彩花	再春館製薬所	
				選手 山口 茜	再春館製薬所			
				スーパーシリーズファイナル	選手 山口 茜	再春館製薬所		

	大会名	氏 名	所 属	
バドミントン	第72回国民体育大会	監督 権藤 浩二	八代東高等学校	
		選手 田中 湧士		
		選手 森田新太郎		
		選手 小本 大佑		
	第56全日本教職員選手権大会	選手 江藤 正治	力合中学校	
		選手 三次 圭介	玉陵中学校	
		選手 板井 宏基	嘉島西小学校	
		選手 木下 修二	熊本市教育委員会	
		選手 前田 真利	専修大学玉名高等学校	
		選手 村上 武史	あさぎり中学校	
		選手 金子 朝昭	菊水中学校	
		選手 上村 大志	菊陽北小学校	
		選手 松本 祐一	水俣第二中学校	
		選手 江藤 正治	力合中学校	
		選手 三次 圭介	玉陵中学校	
		選手 坂崎美奈子	城山小学校	
		選手 木下八枝子	西原小学校	
	第41回全日本専門学校選手権大会	熊本高専八代キャンパス		
		監督 浜辺 裕子		
		コーチ 坂本 正	選手 小柳 七海	
		プレイヤー 植田 円香	選手 森本 暁音	
		選手 坂田衣央里	選手 伊藤七奈星	
		選手 横山 瑞海	選手 中村 綺夏	
		選手 田辺 一香	選手 竹隈 光紀	
		選手 森本 暁音	熊本高専八代キャンパス	
		選手 伊藤七奈星		
		選手 森本 暁音	熊本高専八代キャンパス	
	第11回アジアユース男子選手権大会	選手 宮浦 健人	早稲田大学(鎮西高等学校卒)	
		選手 鎌田 憲伸	鎮西高等学校	
		鎮西高等学校		
		監督 畑野 久雄		
	平成29年度 全国高等学校総合体育大会	コーチ 宮迫 竜司	選手 森 北斗	
		プレイヤー 松野 俊作	選手 水町 泰杜	
		選手 鎌田 憲伸	選手 谷 武珍	
		選手 山田 航旗	選手 松岡 弦	
		選手 小橋 佑芽	選手 榮 温輝	
選手 赤星 伸城		選手 前田 滯		
選手 井上 颯史		選手 荒尾 怜音		
鶴屋百貨店				
監督 鹿毛美智子				
コーチ 村上 好美		選手 村木 花奈		
コーチ 倉野 久美	選手 簗田小百合			
プレイヤー 家入沙希恵	選手 落合 千里			
選手 米村 知紗	選手 松本恵理奈			
選手 田中 愛巳	選手 成松 祐里			
選手 野尻 絢那	選手 後藤 夏実			
選手 上野 綾菜	選手 西村かおり			
選手 松岡 和泉	選手 園田 美宇			
バスケットボール	平成29年度全日本実業団大会	オムロンリレーアンドデバイス(株)		
		監督 黄 慶泳		
		選手 宮川 裕美	選手 山下真里奈	
		選手 勝連 智恵	選手 尾崎 佳奈	
		選手 相澤 莉乃	選手 白石 さと	
		選手 吉田 起子	選手 西尾 瑠那	
		選手 松本江里加	選手 川俣ゆかり	
		選手 石井 優花	選手 末吉有里沙	
		選手 小舘 美紀	選手 東濱 裕子	
		選手 松尾 祐依	選手 福井亜由美	
	選手 永田しおり	選手 高杉 桃加		
	第69回全日本選手権大会			
柔道	ロシア警察・軍隊国際団体大会	選手 藤本 正寛	熊本県警察	
	2017東アジア選手権大会	選手 米村 克麻	日本体育大学(九州学院高等学校卒)	
	2017日本ベテランズ国際大会	選手 上野 清吾	熊本県柔道協会	
	講道館杯全日本体重別選手権大会	選手 土井 雅子	環太平洋大(阿蘇高等学校卒)	
	平成29度全国中学校体育大会	九州学院中学校		
		監督 ム 一司	選手 坂本 陸	
		選手 荒木 京介	選手 平尾 尚武	
		選手 手塚 智樹	選手 末永 英大	
		選手 鯨島 雅貴	選手 田中 兆	
		監督 ム 一司	九州学院中学校	
		選手 荒木 京介		
		九州学院高等学校		
		第26回全国高等学校選抜大会	監督 米田 敏郎	選手 長尾 和樹
			選手 岩切 勇磨	選手 重黒木祐介
	選手 近本 太郎		選手 児嶋 博文	
	選手 黒木裕二郎		選手 諸岡 昭徳	
	平成29年度全国高等学校総合体育大会	監督 米田 敏郎	九州学院高等学校	
		選手 岩切 勇磨		
第65回全日本選手権大会	選手 西村 英久	熊本県警察		
弓道	第14回全国中学生大会 (JOCジュニアオリンピックカップ大会)	監督 森田 淳	小川中学校	
		選手 古閑 龍臣		
		選手 古賀 滉介		
		選手 岩元 奏磨		
		選手 坂井 勇斗		
第28回全国都道府県中学生選手権大会	監督 高濱 壽夫	宇土鶴城中学校		
	選手 花岡 真生			
	選手 川副 楓馬			
	選手 川上 竜昌			
	監督 高濱 壽夫	宇土鶴城中学校		
	選手 川上 竜昌			
	第59回選抜高等学校宇佐大会	監督 本田 浩二	文徳高等学校	
		選手 川副 圭太		
		// 草野 直哉		
		// 中西 勇成		
第68回全国高等学校選抜大会	監督 本田 浩二	文徳高等学校		
	選手 川副 圭太			
ボクシング	第28回全国高等学校選抜大会	監督 西垣祥二郎	開新高等学校	
	平成29年度全国高等学校総合体育大会	選手 重岡銀次朗		
第16回全日本女子選手権大会	選手 小村つばさ	自衛隊体育学校(熊本星翔高等学校卒)		
ウェイトリフティング	第32回全国高等学校選抜大会	監督 坂田 理	八代農業高等学校	
	平成29年度全国高等学校総合体育大会	選手 水口 雅基		
第72回国民体育大会	監督 野田真一郎	天草拓心高等学校		
	選手 水口 雅基	八代農業高等学校		
ボート	第39回全日本軽量級選手権大会	選手 川野 陽平	明治大学 (熊本学園大学付属高等学校卒)	
		選手 松木健太郎		
	第58回全日本新人選手権大会	選手 塩田 義峰	中央大学 (熊本学園大学付属高等学校卒)	
		選手 小島 発樹		
選手 藤吉 俊樹		法政大学(熊本学園大学付属高等学校卒)		
レスリング	全日本ジュニア選手権大会	監督 三原 大典	玉名工業高等学校	
選手 吉永信太郎				
フットサル	2017世界ジュニア選手権大会	選手 菊池 小巻	専修大学(翔陽高等学校卒)	
	第50回全日本シニア選手権大会	野村 隆夫	水前寺クラブ 松橋クラブ	
選手 谷 昌樹				
第72回国民体育大会		監督 野口 修一	水前寺クラブ 熊本学園大学	
	選手 今井 双葉			
世界選手権大会男女大会2017	選手 今井 双葉	熊本学園大学		
デバッド	第35回全日本選手権大会	選手 渡邊 雅之	桜木ふれあいスポーツクラブ	
		選手 武末 知之		

加盟団体長・理事長会

平成29年度加盟団体長・理事長会を1月13日(土)にホテル日航熊本(熊本市)に於いて、加盟団体の会長並びに理事長をはじめ、関係団体等から130名の参加を得て開催しました。

当日は、バルセロナオリンピック男子マラソン銀メダリスト森下広一氏(トヨタ自動車九州株式会社陸上競技部監督)を講師にお迎えし、「夢は人を強くする」をテーマに講演をいただきました。

本県は、2019年にラグビーワールドカップや女子ハンドボール世界選手権大会の開催を控えるとともに、2020年に東京で行われるオリンピック・パラリンピックには、多くの本県関係選手が参加することができるよう取り組みを進めているところですが、今回は森下氏の貴重な経験や指導理論等を学ぶ機会となり、参加者にとって大変有意義で励みとなる時間になりました。



会場



講師 森下広一氏

街頭募金活動

本県のスポーツ振興を推進し、2019年に開催する「ラグビーワールドカップ」や「女子ハンドボール世界選手権大会」の周知並びに県民のスポーツに対する機運を高めていただく機会として、1月13日(土)に熊本市上通りアーケードにおいて街頭募金活動を実施しました。

当日は、本会役員並びに加盟団体の皆様をはじめ、「熊本県スポーツ少年団」、「熊本シンクロクラブ」、「東部地域総合型スポーツクラブ」の方々にもお手伝いをいただきました。

多くの県民の皆様からいただきました心温まる貴重な浄財は、本県のスポーツ振興に充当させていただきます。

御協力ありがとうございました。





©2010熊本県くまモン#K27226

県民に夢や希望を与えることができる トップアスリートの養成

ご協力よろしく申し上げます。

熊本県体育協会

100円募金

本募金は「くまもと未来国体（1999年開催）」や「ひのくに新世紀総体（2001年開催）」の開催、2019年に本県で開催する国際大会「女子ハンドボール世界選手権大会」並びに「ラグビーワールドカップ」等、更に2020年には「東京オリンピック・パラリンピック」が控え、より高まった県民のスポーツに対する機運をさらに深め、県民総スポーツ運動の推進と競技力の維持向上のための活動を推進するために募金活動を通じて、広く県民の皆様から支援をいただき、「スポーツが持つ限りない力を最大限に生かし、明るく豊かで健康的な活力ある熊本づくりを目指す。」ことを理念とし、併せて本会並びに加盟団体の財源確保を図ることを目的としています。

第72回 熊本県民体育祭表彰式

第72回熊本県民体育祭表彰式を1月13日(土)に開催いたしました「加盟団体長・理事長会」内で執り行いました。栄えある男女総合優勝並びに女子総合優勝は、ともに熊本市となりました。(綜合成績等の詳細については、「熊本県体育協会会報No.117」に掲載しています。)



男・女共に総合優勝 熊本市



総合躍進第一位 下益城郡

第72回 熊本県民体育祭

男女綜合成績

順位	地域体協名	得点
1	熊本市	1304.5
2	八代市	1045.5
3	菊池郡市	884.0
4	玉名市	838.0
5	人吉市	785.0
6	宇城市	774.0
7	葦北郡	755.5
8	天草市	706.5
9	宇土市	691.5
10	上益城郡	675.5
11	球磨郡	617.0
12	山鹿市	606.5
13	荒尾市	582.0
14	玉名郡	480.0
15	阿蘇郡市	451.5
16	水俣市	443.0
17	下益城郡	360.0
18	上天草市	336.0
19	天草郡	307.0
20	八代郡	172.0

女子綜合成績

順位	地域体協名	得点
1	熊本市	472.0
2	玉名市	260.0
3	八代市	249.0
4	天草市	246.0
5	葦北郡	226.0
6	山鹿市	222.0
7	菊池郡市	222.0
8	宇城市	216.0
9	人吉市	199.0
10	球磨郡	186.0
11	上益城郡	179.0
12	宇土市	178.0
12	水俣市	174.0
14	玉名郡	156.0
15	荒尾市	144.0
16	上天草市	113.0
17	下益城郡	112.0
18	阿蘇郡市	97.0
19	天草郡	94.0
20	八代郡	68.0

躍進順位

順位	地域体協名	第70回大会(A)	第72回大会(B)	得点
1	下益城郡	288.0 (19)	360.0 (17)	1.2500
2	葦北郡	612.5 (15)	755.5 (7)	1.2335
3	人吉市	788.0 (11)	785.0 (5)	0.9962
4	荒尾市	668.0 (13)	582.0 (13)	0.8713
5	天草郡	355.0 (18)	307.0 (19)	0.8648
6	宇城市	895.5 (8)	774.0 (6)	0.8643
7	玉名市	978.0 (5)	838.0 (4)	0.8569
8	八代市	1220.5 (2)	1045.5 (2)	0.8566
9	球磨郡	723.5 (12)	617.0 (11)	0.8528
10	菊池郡市	1044.5 (3)	884.0 (3)	0.8463
11	玉名郡	603.0 (16)	480.0 (14)	0.7960
12	宇土市	911.5 (7)	691.5 (9)	0.7586
13	山鹿市	812.5 (10)	606.5 (12)	0.7465
14	天草市	965.5 (6)	706.5 (8)	0.7317
15	八代郡	238.0 (20)	172.0 (20)	0.7227
16	阿蘇郡市	654.0 (14)	451.5 (15)	0.6904
17	上益城郡	980.5 (4)	675.5 (10)	0.6889
18	熊本市	2004.5 (1)	1304.5 (1)	0.6508
19	上天草市	560.0 (17)	336.0 (18)	0.6000
20	水俣市	887.0 (9)	443.0 (16)	0.4994

入場行進優秀郡市 天草市・葦北郡・人吉市

～熊本復興 スポーツで輝く未来の創造～ 第73回熊本県民体育祭特別大会 【スポーツは、「するモン」「みるモン」「ささえるモン」】

熊本県内最大規模のスポーツイベントである熊本県民体育祭を、熊本地震からのスポーツによる復興を祈念する特別大会として、「～熊本復興 スポーツで輝く未来の創造～」を冠称に据え、9月8日～23日の3週間にわたり、24の採点競技、9の公開競技を、県内各地で開催します。

日程・会場一覧（案）

No.	区分	競技名	期日(平成30年9月)						開催市町村	会 場
			8 日 (土)	9 日 (日)	15 日 (土)	16 日 (日)	22 日 (土)	23 日 (日)		
1	採点競技	陸上競技				●			阿蘇市	阿蘇市阿蘇農村公園あぴか陸上競技場
2		水泳	●	●					熊本市	熊本市総合屋内プール（アクアドームくまもと）(50 m)
3		軟式野球			●	●			熊本市	水前寺野球場
					●	●			熊本市	県民総合運動公園 野球場A・B
					●	●			嘉島町	嘉島町総合運動公園 野球場
4		ソフトボール			●	●			八代市	球磨川河川敷スポーツ公園（1日目7面、2日目4面）
5		ソフトテニス			●	●			熊本市	県民総合運動公園 メインコート
6		卓球	●	●					熊本市	熊本市総合体育館 大体育室
7		バドミントン			●	●			熊本市	熊本市総合体育館 大体育室
8		バレーボール			●	●			山鹿市	山鹿市カルチャースポーツセンター 総合体育館
					●					山鹿市鹿本体育館
9		バスケットボール			●	●			熊本市	東海大学付属熊本星翔高等学校 体育館
					●	●			熊本市	熊本県立熊本農業高等学校 体育館
					●	●			熊本市	熊本県立熊本西高等学校 体育館
10		ハンドボール					●	●	山鹿市	山鹿市カルチャースポーツセンター 総合体育館
							●	●		山鹿市鹿本体育館
							●			山鹿市鹿央体育館
11		サッカー			●	●			大津町	大津町運動公園 球技場・陸上競技場
12		柔道		●					山鹿市	山鹿市カルチャースポーツセンター 総合体育館
13		剣道			●				天草市	天草市民センター体育館
14		弓道			●	●			熊本市	南部総合スポーツセンター弓道場（近の場・遠の場・控室）
15		相撲				●			熊本市	県民総合運動公園 相撲場
16		銃剣道				●			菊池市	菊池市立泗水体育館
17		空手道					●	●	熊本市	託麻スポーツセンター
18	アーチェリー	●	●					菊陽町	菊陽杉並木公園さんさん スポーツ広場	
19	クレ射撃	●						熊本市	熊本クレ射撃場	
20	馬術	●	●					菊池市	熊本県立菊池農業高等学校 馬術競技場	
21	テニス			●	●			熊本市	県民総合運動公園 屋内運動広場（パークドーム熊本）	
22	ゲートボール		●					熊本市	県民総合運動公園 屋内運動広場（パークドーム熊本）	
23	ボウリング	●	●					熊本市	namco ワンダーシティ南熊本店ワンダーボウル	
24	グラウンド・ゴルフ			●	●			菊陽町	菊陽杉並木公園さんさん ふれあい広場	
公開競技	カヌー（スプリント）			●				水俣市	水俣川特設カヌー競技場	
	カヌー（ワイルドウォーター）				●			人吉市	球磨川特設カヌー競技場	
	ラグビーフットボール				●			熊本市	県民総合運動公園ラグビー場	
	ウエイトリフティング				●			八代市	県立八代農業高等学校ウエイトリフティング場	
	ボクシング			●				熊本市	東海大学付属熊本星翔高等学校ボクシングジム	
	山岳			●	●			益城町	飯田山周辺	
	セーリング		●					宇土市	宇土マリーナ	
	ゴルフ	5月初旬～6月下旬						各地	加盟ゴルフ 38 コース	
	新体操	9月2日（日）						熊本市	熊本市総合体育館 大体育室	
9	日本拳法				●			熊本市	北部武道館	

第73回 国民体育大会冬季大会結団式

平成30年1月18日(木) 午後3時から熊本県庁において、第73回国民体育大会冬季大会熊本県選手団結団式を行いました。

公益財団法人熊本県体育協会村上寅美副会長からスキー競技の団長である熊本県体育協会松尾具親副会長に、松尾団長から、選手団を代表してスキー競技(ジャイアントスラローム) 園村友都選手(熊本県立宇土高等学校)に団旗が授与されました。また、スケート競技(ショートトラック) 富吉葉月選手(熊本市立千原台高等学校)が力強く選手宣誓を行いました。

冬季大会は、スケート競技会が平成30年1月28日(日)～2月1日(木)に山梨県、スキー競技会が平成30年2月25日(日)～28日(水)に新潟県で開催されます。



第73回 国民体育大会冬季大会

「今、君は氷上の風になる」のスローガンのもと、第73回国民体育大会スケート競技会が山梨県県で開催されました【1月28日(日)～2月1日(木)】。また、「銀世界 跳ねて 駆けて かがやいて」のスローガンのもと、第73回国民体育大会スキー競技会が新潟県で開催されました。【2月25日(日)～28日(水)】。

熊本県からも、スケート競技会・スキー競技会に26名の選手団を派遣し、熱戦を展開しました。



熊本県選手団成績

【スケート・アイスホッケー競技会】

会期:平成30年1月28日(日)～2月1日(木)

会場:山梨県甲府市

男女総合成績(天皇杯成績)			
競技得点	参加得点	合計得点	順位
0	20	20	30

女子総合成績(皇后杯成績)			
競技得点	参加得点	合計得点	順位
0	10	10	22



【スキー競技会】

会期:平成30年2月25日(日)～2月28日(水)

会場:新潟県妙高市

男女総合成績(天皇杯成績)			
競技得点	参加得点	合計得点	順位
0	10	10	21

女子総合成績(皇后杯成績)			
競技得点	参加得点	合計得点	順位
0	10	10	16



スポーツ少年団のごあんない

3つの 理念

スポーツを通じた青少年の“心”と“体”の健全育成

ひとりでも多くの青少年にスポーツの喜びを提供

スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献

※理念に基づき、スポーツ活動だけでなく交流活動やリーダー育成など「子どもたちへの体験機会の提供」を行っています。また、子どもたちの安全な活動が地域スポーツに普及するよう指導者養成も行っています。

スポーツ少年団の活動

チームの自主的な独自の活動と上部組織の開催する事業への参加が主となります。

①スポーツ大会



②リーダー育成・国内交流事業



③国際交流事業



④指導者養成



スポーツ少年団とは…（組織概要）

日本国内のアマチュアスポーツを統括する「公益財団法人日本体育協会」が、青少年の社会体育（教育）の一端を担うスポーツ団体として創設した国内最大の青少年による全国組織です。

その歴史は1962年から始まり半世紀以上ものあいだ、ジュニアスポーツのために活動しております。

組織全体像は、個々のスポーツ団体が、活動拠点を基準とする市町村スポーツ少年団に所属し、県スポーツ少年団を通して、日本スポーツ少年団に所属する全国組織です。現在は全国の各都道府県、各市町村にスポーツ少年団が設置されており、団員約80万人、指導者約20万人が登録し活動しています。

スポーツ少年団の登録方法

加盟の方法は、「スポーツ少年団登録規定」に基づき、活動拠点を基準とする市町村スポーツ少年団に対し、毎年4月から6月の期間内に、1年毎の登録制となります。Web登録システムを利用した登録申請と登録料の納入が必要です。

登録には、小学生～20歳までの団員登録と、実技指導者や団運営者、保護者などの指導者登録となります。

登録方法

- ①インターネット端末を利用したWeb登録システムによる申請 ※1チームごとにユーザーIDが作られます。
- ②登録料の納入【指導者ひとり1,100円、団員ひとり500円／※併せて市町村への登録料が必要】



アクティブ・チャイルド・プログラム



■アクティブチャイルドプログラム普及講習会

5月28日(日)に、光の森町民センター キャロップシアにおいて、標記講習会を開催しました。熊本県内外からスポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブの関係者58名が参加しました。



■アクティブチャイルドプログラム講師講習会

9月23日(土)～24日(日)に、熊本学園大学 総合体育館において、標記講習会を開催しました。熊本県内外からスポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブの関係者20名が参加しました。



※アクティブチャイルドプログラムとは…

子どもの発達段階に応じて身に付けておくことが望ましい動きや体を操作する能力を獲得し、高めるために行う「レクリエーションや運動遊びの要素を含んだ運動プログラム」です。子どもたちが運動遊びで楽しみながら基礎運動能力の向上が図れます。

くまもとジュニアアスレティックトライアル

平成29年12月23日に、熊本県内の小学生の参加のもと、運動の基礎動作「走る・跳ぶ・投げる」の記録会を通して、運動能力の現状把握と能力向上を図り、子どもたちがスポーツに親しみを持てるよう環境を整備することを目的に、「ジュニアアスレティックトライアル」を開催しました。今回は、県内から15チーム151名が参加しました。

記録会の前には、いつもより良い記録が出せるよう熊本大学陸上競技部の部員から各種目のコツを伝授してもらいました。

記録会の種目は、新体力テストの「走・跳・投」の種目と同じ「50m走・立幅跳・ソフトボール投げ」を実施しました。

また、スポーツによる元気づくりを目的として開催し、記録会終了後に、県内のアクティブ・チャイルド・プログラム講師から、各学年ごとに運動遊び・体力づくりを実施していただきました。



地域スポーツ振興「講師等派遣事業」

本会ではスポーツ振興くじ助成金を活用し、講師や指導者の派遣を行っています。
平成29年度は県内8つの総合型地域スポーツクラブに派遣し、教室を実施しました。

やつしろ総合型クラブ「リ・ボンズ」(八代市 高田校区)

- ・事業名 バドミントン教室
- ・期 日 平成29年7月7日、7月28日 (2回)
- ・講 師 森田清隆氏、小原史弥氏
- ・参加者 幼児、小学生、一般 延べ45人



NPO法人桜木ふれあいスポーツクラブ (熊本市 東区)

- ・事業名 健康体操教室
- ・期 日 平成29年6月23日～9月12日 (8回)
- ・講 師 隈部智子氏、後藤美穂氏
- ・参加者 桜木校区、桜木東校区とその近隣住民 延べ49人



東部地域総合型スポーツクラブ (熊本市 東区)

- ・事業名 ダンス教室
- ・期 日 平成29年9月2日、3日、10月1日、7日 (4回)
- ・講 師 有村春奈氏
- ・参加者 小学1～6年生 延べ21人



- ・事業名 バレーボール教室
- ・期 日 平成29年8月6日、9月3日 (2回)
- ・講 師 土田一仁氏、土田好次氏
- ・参加者 小学1～6年生 延べ28人



やまが総合スポーツクラブ (山鹿市)

- ・事業名 こども運動教室 (事業1)
- ・期 日 平成29年7月22日、10月9日 (2回)
- ・講 師 高野聡氏、中門啓一氏
- ・参加者 山鹿市内の園児、小学生、小学校教員、保護者 延べ84人



- ・事業名 こども運動教室 (事業2)
- ・期 日 平成29年8月1日
- ・講 師 上原真生氏、建岡欣也氏
- ・参加者 山鹿市内小学校教員 17人



出水南どっとネット (熊本市中央区)

- ・事業名 バスケットボール教室
- ・期 日 平成29年11月7日～11月14日 (4回)
- ・講 師 菊池広明氏、福山直樹氏、徳永隆聖氏
今福裕太氏、奈良篤人氏
- ・参加者 小学4年生～6年生 延べ197人



山都ふれあいスポーツクラブ (山都町)

- ・事業名 ソフトテニス教室
- ・期 日 平成29年11月9日、16日、30日 (3回)
- ・講 師 岩下敏和氏
- ・参加者 小学1年生～大人 延べ62人



NPO法人長洲にこにこクラブ (長洲町)

- ・事業名 指導者研修会
- ・期 日 平成29年10月28日、11月26日 (2回)
- ・講 師 平野いずみ氏、日野邦彦氏
- ・参加者 NPO法人長洲にこにこクラブ指導者 延べ22人



NPO法人火の山スポーツクラブ (阿蘇市)

- ・事業名 バレエ教室
- ・期 日 平成29年8月5日～11月25日 (8回)
- ・講 師 原部静子氏
- ・参加者 小学生～大人 延べ55人



NPO法人火の山スポーツクラブ (阿蘇市)

- ・事業名 初めてのランニング教室
- ・期 日 平成29年9月2日～11月25日 (5回)
- ・講 師 藪亀治氏
- ・参加者 幼児～大人 延べ147人



- ・事業名 ゲートボール教室
- ・期 日 平成29年9月10日、11月12日、12月14日 (3回)
- ・講 師 村上政次氏
- ・参加者 小学生～大人 延べ16人



第7回 県内クラブ交流大会

11月19日（日）熊本市城南総合スポーツセンターをメイン会場に、第7回目となる県内クラブ交流大会を開催しました。

この大会は、クラブ間の交流を目的としており、本会と熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会との共催で開催しております。昨年度は、熊本地震の影響により開催が延期となりました。

実施内容は、午前の部として、ジュニア・キッズサッカー、グラウンドゴルフ、ウォーキング、アジャタ、そして午後からは熊本地震からの復興イベントとしてエアリーセンスを招いての「復興ライブ」、熊本県民テレビの本橋アナウンサーを招いての「復興講演会」を行いました。

その後、県内3ブロックで対抗戦として玉入れタイムレース、復興リレーを行い、クラブ間・世代間での交流もありました。

また、東京オリンピック・パラリンピック関連PR事業として、開会セレモニーで、参加者みんなで東京五輪音頭「2020」を踊りました。また、閉会式では県内クラブからの持ち寄り品でお楽しみ抽選会を行いました。

来賓として、熊本県教育庁教育指導局体育保健課長の西村浩二様、熊本市経済観光局文化・スポーツ交流部長の村上誠也様に御出席いただきました。

県内各地から総勢900名の参加があり、大変盛り上がりました。



平成29年度地域スポーツ指導者研修会

昨年度からの新規事業として、本会が熊本県教育委員会から委託を受け、地域スポーツ指導者の育成・養成、資質向上を目的とした研修会を開催しました。

冒頭に、熊本県教育庁教育指導局人権同和教育課の山本幸二主幹から人権に係る説明があり、その後「指導者とは」との演題で、元女子ソフトボール日本代表監督の宇津木妙子氏に御講演いただきました。

宇津木氏からは、「指導者とは、技術を教えるだけではなく、人を育てるものである。」「努力は裏切らない。」など、指導者としてあるべき姿や、指導者に求められる資質について、大変内容の濃いお話を拝聴することができました。

午後からは、「指導上の法的留意点」について、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構の小川和茂氏による講話があり、暴力やセクハラ等防止の観点から判例等交えて御説明いただきました。

さらに、「子供の個性・特性に応じた指導」と題し、熊本大学教育学部特別支援教育学科（准教授）の菊池哲平氏、八代市立太田郷小学校教諭の今田直人氏から、発達障害の特性や、子どもへの配慮すべき点、指導上の工夫や注意点を御説明いただきました。

植木文化センターにて、県内各地から335名の参加があり、大変充実した研修会となりました。

次年度も引き続き研修会を実施し、指導者の資質向上に向けた取組を行っていきます。



小川和茂氏



菊池哲平氏



今田直人氏



参加者の様子



宇津木妙子氏

誰もが世界一になれるわけでもない
誰もが日本代表になれるわけでもない
それでも人はスポーツをする
昨日の自分に追い越されないために
明日の自分を追い越すために
スポーツに鍛えられた人生は
勝っても負けても きっと負けない

スポーツは、自分を超越するためにある。

スポーツくじ



スポーツくじ (toto・BIG) の収益は、日本のスポーツを
育てるために使われています。

【ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト】

公益財団法人日本体育協会は、平成29年度より独立行政法人日本スポーツ振興センターからの委託を受け、「競技力向上事業」の一環として、全国の将来性豊かなアスリートを発掘するためのプロジェクト「ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト」を実施しています。本会ではハンドボール競技の競技拠点県として再委託を受け、公益財団法人日本ハンドボール協会等と連携し、世界レベルのコーチとともに山鹿市で「競技拠点県合宿」を行いました。また、県内のアスリート育成の関係者を対象に事業の内容や重要性の理解を深めるため競技拠点県フォーラムを実施しました。



《競技拠点県合宿》

年末年始の計8日間、山鹿市のオムロン鹿陽センターにおいて全国から選抜された7名の中学生が参加しました。五輪で金銀銅メダルの獲得経験がある元韓国代表の洪さんをコーチに迎え、ボールの投げ方やステップなどの基本から指導を受けました。今後は居住県の練習環境を整えることや短期合宿などを取り入れることとしており、さらなる世界レベルへ向けての成長が注目されます。



《競技拠点県フォーラム》

平成30年1月27日（土）にホテル熊本テルサにおいて、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者をはじめとしたアスリート育成の関係者を対象に、ジャパン・ライジング・スター・プロジェクトや地域におけるタレント発掘・育成事業の普及・定着を目指すことを目的に開催しました。講演Ⅰでは、山下修平氏（独立行政法人日本スポーツ振興センター）が「アスリート育成パスウェイとタレント発掘・育成プログラム」を、講演Ⅱでは、上原真生氏（熊本県ハンドボール協会）、内藤竜一氏（熊本県ボート協会）、高木浩信氏（公益財団法人福岡県スポーツ振興センター）が「アスリートパスウェイを考える～地域からの選手発掘～」をテーマにパネルディスカッションを行いました。参加者からも今後の活動について質疑応答があり、今後に繋がる有意義な研修会となりました。



講師：山下氏



パネリスト：上原氏・内藤氏・高木氏



会場の様子

競技力向上対策研修会

11月3日（金・祝）に水前寺共済会館グレースシアにおいて、「平成29年度競技力向上対策研修会」を国体実施競技団体の強化スタッフ等、約90名の参加のもとに開催しました。

『講演』では、廣瀬佳司氏<トヨタ自動車（株）スポーツ強化・地域貢献室課長 前トヨタ自動車ヴェルブリッツ監督>が、「楕円球を追い続けて」をテーマに、これまでの競技経験や指導者として各選手へのアプローチ等、様々な角度から、御教示いただきました。

『成績報告及び分析』では、第37回九州ブロック大会（主会場：長崎県）及び第72回国民体育大会「愛顔えひめ国体」での成績を基に熊本県教育庁教育指導局体育保健課が行いました。

また、『協議』では、各競技団体等の強化担当者等がグループワークを行い、ジュニア育成・強化に対する課題への取り組み等、グループワークが行われました。



第30回熊本県スポーツ指導者フォーラム



講師 白井 克佳氏

平成30年1月6日（土）にくまもと県民交流館パレア（熊本市）において、「平成29年度第30回熊本県スポーツ指導者フォーラム」を開催しました。（主催：公益財団法人熊本県体育協会・公益財団法人スポーツ安全協会熊本県支部）

フォーラムには、対象となった加盟団体関係者をはじめ、日体協公認スポーツ指導者等、219名が参加されました。講演では、白井克佳先生（独立行政法人日本スポーツ振興センター・ハイパフォーマンスセンター スポーツ開発部企画・推進課長）が、「スポーツにおけるIT（情報通信分野）活用の現状」をテーマにプレゼンテーションを行

いました。

また、ワークショップでは、第13回目のテーマとなる「ジュニアスポーツの実態と問題点について」、熊本県自転車競技連盟の中田将次氏、熊本県スキー連盟の橋口英介氏、熊本県ボウリング連盟の平井正美氏、総合型地域スポーツクラブ・DREAM火流理事長の北園武広氏ら発表者4名が事例発表を行い、座長の唐津邦利氏（本会スポーツ医科学専門委員会委員）を中心にフロアの参加者を含め、様々な意見交換を行いました。



ワークショップの様子



会場の様子

アンチ・ドーピング教育・啓発事業



2月3日(土)に熊本市中央区の熊本県薬剤師会館において、「国体選手を中心としたアンチ・ドーピング教育・啓発事業 熊本県講習会」が開催されました。

(公益社団法人熊本県薬剤師会共催・公益財団法人熊本県体育協会スポーツ医科学専門委員会主管)

講習会は、対象となった関係競技団体の強化や医事スタッフ、薬剤師、スポーツドクター等 63名が参加され、笠師久美子先生(北海道大学病院副薬剤部長)を講師に迎え、教育・啓発の重要性と最新のドーピング・コントロール事情やスポーツファーマシストの活用、アスリートを支える

観点から、有意義な発表が行われました。



平成29年度体力づくりサポートプログラム・栄養サポートプログラム



平成30年2月10日(土)、県民総合運動公園陸上競技場(えがお健康スタジアム)トレーニングルームにおいて「体力づくりサポートプログラム・栄養サポートプログラム」を開催しました。

(一般財団法人熊本県スポーツ振興事業団共催事業)

当日は、県内の国民体育大会候補選手の高校生や一般のアスリート約30名が参加し、「体組成測定」をはじめ、ウエイトトレーニング等の実践指導、更には、管理栄養士による栄養講話が行われました。



平成29年度「心理サポートプログラム・指導者向けメンタルトレーニング講習会」

平成30年2月17日(土)にホテル熊本テルサ(熊本市)において平成29年度「心理サポートプログラム・指導者向けメンタルトレーニング講習会」を開催しました。(主催:公益財団法人熊本県体育協会)

講習会には、対象となった加盟団体関係者をはじめ、トレーナー部会員等が参加され、講演では、講師の橋本公雄先生(熊本学園大学社会福祉学部教授 日本スポーツ心理学会名誉会員)が、「競技力向上と自己成長を図るメンタルトレーニング」をテーマとして、実践を含めた講話が行われました。参加者から多くの質問が寄せられるなど、関心の高さが伺えました。



2018年禁止表

世界アンチ・ドーピング規程 2018 年 1 月 1 日発効

世界アンチ・ドーピング規程の 4.2.2 条に従い、すべての禁止物質は「特定物質」として扱われる。但し、禁止物質 S1,S2,S4.4,S4.5,S6.a および禁止方法 M1,M2 および M3 は除く。

常に禁止される物質と方法（競技会（時）および競技会外）

禁止物質

SO. 無承認物質

禁止表の以下のどのセクションにも対応せず、人体への治療目的使用が現在どの政府保健医療当局でも承認されていない薬物（例えば、前臨床段階、臨床開発中、あるいは臨床開発が中止になった薬物、デザイナードラッグ、動物への使用のみが承認されている物質）は常に（競技会（時）および競技会外）禁止される。

S1. 蛋白同化薬

蛋白同化薬は禁止される。

1. 蛋白同化男性化ステロイド薬 (AAS)

- a. 外因性* AAS:例として以下の物質がある。
- 1-アンドロステンジオール (5 α -アンドロスタ-1-エン-3 β , 17 β -ジオール) ; 1-アンドロステンジオン (5 α -アンドロスタ-1-エン-3, 17-ジオン) ; 1-アンドロステロン (3 α -ヒドロキシ-5 α -アンドロスタ-1-エン-17-オン) ; 1-テストステロン (17 β -ヒドロキシ-5 α -アンドロスタ-1-エン-3-オン) ; 4-ヒドロキシテストステロン (4,17 β -ジヒドロキシアンドスタ-4-エン-3-オン) ; ボランジオール (エストラ-4-エン-3 β , 17 β -ジオール) ; ボラステロン ; カルステロン ; クロステボール ; ダナゾール ([1, 2] オキサゾ [4, 5] :2, 3] プレグナ-4-エン-20-イン-17 α -オール) ; デヒドロクロメチルテストステロン (4-クロロ-17 β -ヒドロキシ-17 α -メチルアンドロスタ-1,4-ジエン-3-オン) ; デスオキシメチルテストステロン (17 α -メチル-5 α -アンドロスタ-2-エン-17 β -オール) ; ドロスタノロン ; エチルエストレノール (19-ノルプレグナ-4-エン-17 α -オール) ; フルオキシメステロン ; ホルメボロン ; フラザボール (17 α -メチル [1, 2, 5] オキサゾ [3, 4] :2, 3]-5 α -アンドロスタ-17 β -オール) ; ゲストリノン ; メスタノロン ; メステロン ; メタンジエノン (17 β -ヒドロキシ-17 α -メチルアンドロスタ-1, 4-ジエン-3-オン) ; メテノロン ; メタンドリオール ; メタステロン (17 β -ヒドロキシ-2 α , 17 α -ジメチル-5 α -アンドロスタ-3-オン) ; メチルジエノン (17 β -ヒドロキシ-17 α -メチルエストラ-4, 9-ジエン-3-オン) ; メチル-1-テストステロン (17 β -ヒドロキシ-17 α -メチル-5 α -アンドロスタ-1-エン-3-オン) ; メチルノルテストステロン (17 β -ヒドロキシ-17 α -メチルエストラ-4-エン-3-オン) ; メチルテストステロン ; メトリボロン (メチルトリエノロン, 17 β -ヒドロキシ-17 α -メチルエストラ-4, 9,11-トリエン-3-オン) ; ミボレノン ; ノルボレノン ; ノルクロステボール ; ノルエタンドロン ; オキサボロン ; オキサンドロン ; オキシメステロン ; オキシメロン ; プロスタノゾール (17 β -[(テトラヒドロピラン-2-イル) オキシ]-1'-H-ピラゾ [3, 4] :2,3]-5 α -アンドロスタ) ; キンボロン ; スタノゾール ; ステンボロン ; テトラヒドロゲストリノン (17-ヒドロキシ-18 α -ホモ-19-ノル-17 α -プレグナ-4, 9,11-トリエン-3-オン) ; トレンボロン (17 β -ヒドロキシアンドスタ-4,9,11-トリエン-3-オン) ;
- および類似の化学構造又は類似の生物学的効果を有するもの。
- b. 外因的に投与した場合の内因性** AAS :
- 19-ノルアンドロステンジオール (エストラ-4-エン-3,17-ジオール) ; 19-ノルアンドロステンジオン (エストラ-4-エン-3,17-ジオン) ; アンドロスタノロン (5 α -ジヒドロテストステロン, 17 β -ヒドロキシ-5 α -アンドロスタ-3-オン) ; アンドロステンジオール (アンドロスタ-5-エン-3 β , 17 β -ジオール) ; アンドロステンジオン (アンドロスタ-4-エン-3, 17-ジオン) ; ポルデノン ; ポルジオン (アンドロスタ-1, 4-ジエン-3, 17-ジオン) ; ナンドロン (19-ノルテストステロン) ; プラステロン (デヒドロエピアンドロステロン, DHEA, 3 β -ヒドロキシアンドロスタ-5-エン-17-オン) ; テストステロン ;

および以下の代謝物と異性体が含まれるが、これらに限定するものではない：

- 3 β -ヒドロキシ-5 α -アンドロスタ-17-オン ; 5 α -アンドロスタ-2-エン-17-オン ; 5 α -アンドロスタ-3 α , 17 α -ジオール ; 5 α -アンドロスタ-3 α , 17 β -ジオール ; 5 α -アンドロスタ-3 β , 17 α -ジオール ; 5 α -アンドロスタ-3 β , 17 β -ジオール ; 5 β -アンドロスタ-3 α , 17 β -ジオール ; 7 α -ヒドロキシ-DHEA ; 7 β -ヒドロキシ-DHEA ; 4-アンドロステンジオール (アンドロスタ-4-エン-3 β , 17 β -ジオール) ; 5-アンドロステンジオン (アンドロスタ-5-エン-3, 17-ジオン) ; 7-ケト-DHEA ; 19-ノルアンドロステロン ; 19-ノルエチオコラノン ; アンドロスタ-4-エン-3 α , 17 α -ジオール ; アンドロスタ-4-エン-3 α , 17 β -ジオール ; アンドロスタ-4-エン-3 β , 17 α -ジオール ; アンドロスタ-5-エン-3 α , 17 α -ジオール ; アンドロスタ-5-エン-3 α , 17 β -ジオール ; アンドロスタ-5-エン-3 β , 17 α -ジオール ; アンドロステロン ; エビジヒドロテストステロン ; エビテストステロン ; エチオコラノン

2. その他の蛋白同化薬

以下の物質が禁止されるが、これらに限定されるものではない：

- クレンブテロール、選択的アンドロゲン受容体調節薬 (SARMs [アンダリン、LGD-4033、オスタリン、RAD140 等]) ; チボロン ; ゼラノール ; ジルバテロール

このセクションにおいて、

* 「外因性 (exogenous)」とは、通常、体内で自然につくられない物質に対して用いる。

** 「内因性 (endogenous)」とは、通常、体内で自然につくられる物質に対して用いる。

S2. ペプチドホルモン、成長因子、関連物質および模倣物質

- 以下の物質および類似の化学構造又は類似の生物学的効果を有するものは禁止される：
1. エリスロポエチン (EPO) および赤血球新生に影響を与える物質
以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：
 1. 1 エリスロポエチン受容体作動薬 ダルベポエチン (dEPO) ; エリスロポエチン (EPO) ; EPO の構造に基づいて作製された化合物 [EPO-Fc、メトキシポリエチレングリコール-エポエチンペーザ (CERA)] ; EPO 模倣ペプチドおよびそれらの作製された化合物 [CNOTO 530、ベジネサタイト等] 等
 1. 2 低酸素誘導因子 (HIF) 活性化薬
アルゴン ; コバルト ; モリデュスタット ; ロキサデュスタット (FG-4592) ; キセノン等
 1. 3 GATA 阻害薬 K-11706 等
 1. 4 TGF- β ベータ (TGF- β) 阻害薬 ラスパレルセプト ; ソタテルセプト 等
 1. 5 内因性修復受容体作動薬 アシアロ EPO ; カルバミル化 EPO (CEPO) 等
2. ペプチドホルモンおよびホルモン調節物質
 2. 1 男性における絨毛性ゴナドトロピン (CG) および黄体形成ホルモン (LH) およびそれらの放出因子 [フセリリン、デスロレリン、ゴナドレリン、ゴセリリン、リュープロレリン、ナファレリン、トリプトレリン 等] ;
 2. 2 コルチコトロピン類およびそれらの放出因子
コルチコレリン 等 ;
 2. 3 成長ホルモン (GH)、その断片および放出因子、以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

成長ホルモン断片 [AOD-9604, hGH 176-191 等] ;

成長ホルモン放出ホルモン (GHRH) およびその類似物質 [CJC-1293, CJC-1295, セモレリン, テサモレリン 等] ; 成長ホルモン分泌促進物質 (GHS) [グレリン、グレリン模倣物質 (アナモレリン、イバモレリン、タビモレリン 等) 等] ;

GH-放出ペプチド (GHRPs) [アレキサモレリン, GHRP-1, GHRP-2 (プアルモレリン)、

- GHRP-3, GHRP-4, GHRP-5, GHRP-6, ヘキサレリン 等]
3. 成長因子および成長因子調節物質
以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：
- 線維芽細胞成長因子類 (FGFs) ; 肝細胞増殖因子 (HGF) ; インスリン様成長因子-1 (IGF-1) および類似物質 ; 機械的成長因子類 (MGFs) ; 血小板由来成長因子 (PDGF) ; チモシン- β 4 およびその誘導因子 [TB-500 等] ; 血管内皮増殖因子 (VEGF) 上記に加え、筋、腱あるいは靱帯での蛋白合成 / 分解、血管新生、エネルギー利用、再生能あるいは筋線維組成の変換に影響を与える成長因子あるいは成長因子調節物質

S3. ベータ2作用薬

すべての選択的および非選択的ベータ2作用薬は、すべての光学異性体を含めて禁止される。以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

フェノテロール、ホルモテロール、ヒゲナミン、インダカテロール、オロダテロール、プロカテロール、レプロテロール、サルブタモール、サルメテロール、テルブタリン、ピランテロール

但し以下のものは除く：

- 吸入サルブタモール (24時間 で最大 1600 μ g、いかなる用量から開始しても 12時間 で 800 μ g を超えないこと)
 - 吸入ホルモテロール (24 時間 で最大投与量 54 μ g)
 - 吸入サルメテロール (24 時間 で最大 200 μ g)
- 尿中のサルブタモールが 1000ng/mL、あるいは尿中ホルモテロールが 40ng/mL を越える場合は、治療を意図した使用ではないため、管理された薬物動態研究を通して その異常値が上記の最大治療量以下の吸入使用の結果であることを競技者が立証し ないかぎり、違反が疑われる分析報告 (AAF) として扱われることになる。

S4. ホルモン調節薬および代謝調節薬

- 以下のホルモン調節薬および代謝調節薬は禁止される：
1. アロマトマーゼ阻害薬としては、以下の物質があるが、これらに限定するものではない：
- 4-アンドロステン-3, 6, 17-トリオン (6-オキシ) ; アミノグルテチミド ; アナストロゾール ; アンドロスタ-1, 4, 6-トリエン-3, 17-ジオン (アンドロスタトリエンジオン) ; アンドロスタ-3, 5-ジエン-7, 17-ジオン (アリミスタン) ; エキセメスタン ; ホルメスタン ; レトリゾール ; テストラクトン
2. 選択的エストロゲン受容体調節薬 (SERMs) としては、以下の物質があるが、これらに限定するものではない：
- ラロキシフェン、タモキシフェン、トレミフェン
3. その他の抗エストロゲン作用を有する薬物としては、以下の物質があるが、これらに限定するものではない：
- クロミフェン、シクロフェニル、フルベストラント
4. ミオスタチン機能を修飾する薬物としては、以下の物質があるが、これらに限定するものではない：
- ミオスタチン阻害薬
5. 代謝調節薬
5. 1 AMP 活性化プロテインキナーゼ (AMPK) の活性化薬 [AICAR, SR9009 等] ; ペルオキシソーム増殖因子活性化受容体 δ (PPAR δ) 作動薬 [2-[2-メチル-4-[4-メチル-2-[4-トリフルオロメチルフェニル]チアゾール-5-イル]メチルチオ]フェノキシ酢酸 (GW1516, GW501516) 等] ;
 5. 2 インスリン類およびインスリン模倣物質 ;
 5. 3 メルドニウム
 5. 4 トリメタジジン

S5. 利尿薬および隠蔽薬

以下の利尿薬と隠蔽薬、および類似の化学構造又は類似の生物学的効果を有するものは禁止される。以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない

- デスモプレシン ; プロベネシド ; 血漿増量物質 [アルブミン、デキストラン、ヒドロキシエチルデンプン、マンニトールのいずれも静脈内投与等] ;
- アセタゾラミド ; アミロリド ; フマエチド ; カンタリドン ; エタクリン酸 ; フロセミド ; インダパミド ; メトラゾン ; スピロラクトン ; チアジド類 [ベンズロフルメチアジド、クロロチアジド、ヒドロクロロチアジド等] ; トリアムレネン、パブタン類 [トルパブタン等]

但し以下のものは除く：

- ドロスビレノン ; パマプロム ; および眼科用に使用される炭酸脱水酵素阻害薬 [ドログラミド、プリンゾラミド等] ;
- 歯科麻酔におけるフェリプレシンの局所投与

常に（競技会（時）および競技会外）、あるいは競技会（時）それぞれの場合に応じて、利尿薬もしくは隠蔽薬とともに、閾値水準が設定されている物質（ホルモテロール、サルブタモール、カチン、エフェドリン、メチルエフェドリン、プソイドエフェドリン）がいかなる用量でも競技者の検体から検出される場合は、競技者に対して、利尿薬もしくは隠蔽薬に加え、閾値水準が設定されている物質についても治療使用特例 (TUE) が承認されていない限り、違反が疑われる分析報告 (AAF) として扱われることになる。

禁止方法

M1. 血液および血液成分の操作

- 以下の事項が禁止される：
1. 自己血、他者血 (同種血)、異種血又はすべての赤血球製剤をいかなる量でも循環系へ投与するあるいは再び戻すこと。
 2. 酸素摂取や酸素運搬、酸素供給を人為的に促進すること [過フルオロ化合物、エファプロキニール (RSR13)、修飾ヘモグロビン製剤 (ヘモグロビンを基にした血液代替物質、ヘモグロビンのマイクロカプセル製剤等) が含まれるが、これらに限定するものではない]。但し、吸入による酸素自体の補給は除く。
 3. 血液あるいは血液成分を物理的あるいは化学的手段を用いて血管内操作すること。

M2. 化学的および物理的操作

- 以下の事項が禁止される：
1. ドーピング・コントロールで採取された検体の完全性及び有効性を変化させるために改ざん又は改ざんしようとすることは禁止される。これらには尿のすり替え、尿の改質 (蛋白分解酵素等) などが含まれるが、これらに限定するものではない。
 2. 静脈内注入および/または静脈注射で、12時間あたり計 100mL を超える場合は禁止される。但し、入院、外科手術、または臨床検査のそれぞれの過程において 正当に受ける場合は除く。

M3. 遺伝子ドーピング

- 以下の競技能力を高める可能性のある事項は禁止される：
1. 核酸のポリマーまたは核酸類似物質の使用。
 2. ゲノム配列の変更および遺伝子発現の転写および/またはエピジェネティック調節の変更を目的に設計された遺伝子編集物質の使用。
 3. 正常なあるいは遺伝子を修飾した細胞の使用。

クリーンなスポーツに参加する

アンチ・ドーピングとは、スポーツ固有の価値を守り、試合の公平さや、アスリートの健康を保護するためにスポーツの世界からドーピングを撲滅することです。フェアプレイの精神を軸として、スポーツに係る全ての人が知らなくてはならないルールです。

競技会（時）に禁止される物質と方法

前文 S0～S5、M1～M3に加えて、以下のカテゴリーは競技会（時）において禁止される：

禁止物質

S6. 興奮薬

すべての興奮薬（関連するすべての光学異性体 [d 体および l 体等] を含む）は禁止される。

興奮薬には以下の物質が含まれる：

a：特定物質でない興奮薬：

アドラフィニル；アンフェブラモン；アンフェタミン；アンフェタミニル；アミフェナゾール；ベンフルオレックス；ベンジルピペラジン；プロマンタン；クロベンゾレックス；コカイン；クロプロバミド；クロテタミド；フェンカミン；フェネチリン；フェンフルアミン；フェンプロロレックス；フォンツラセタム [4-フェニルピラセタム (カルフェドン)]；フルフェノレックス；リスデキサンフェタミン；メフェノレックス；メフェンテルミン；メソカルブ；メタンフェタミン (d 体)；p-メチルアンフェタミン；モダフィニル；ノルフェンフルアミン；フェンジメトラン；フェンテルミン；プレニラミン；プロリンタン

このセクションに掲載されていない興奮薬は特定物質である。

b：特定物質である興奮薬

以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

1,3-ジメチルプサルアミン；4-メチルヘキサノ-2-アミン（メチルヘキサノアミン）；ペンズフェタミン；カチン **；カチンおよび類似物 [メフェドロン、メドロン、 α -ピロリジノバロフェノン等]；ジメチルアンフェタミン；エフェドリン ***；エビネフリン ****（アドレナリン）；エタミバン；エチルアンフェタミン；エチレフリン；ファンプロファゾン；フェンブラザート；フェンカンファミン；ヘプタミノール；ヒドロキシアンフェタミン（パラヒドロキシアンフェタミン）；イソメタペン；レブメタンフェタミン；メクロフェノキサート；メチレンジオキシメタンフェタミン；メチルエフェドリン ***；メチルフェニデート；ニクサミド；ノルフェネフリン；オクトパミン；オキシロフリン（メチルシネフリン）；ペモリン；ペンテトラゾール；フェネチルアミンおよびその誘導体；フェンメトラン；フェンプロメタミン；プロピルヘキサドリン；プソイドエフェドリン ****；セレギリン；シブトラミン；ストリキニーネ；ツァミンフェタミン（メチレンジオキシアンフェタミン）；ツァミンハブタン；および類似の化学構造又は類似の生物学的効果を有するもの。

但し以下のものは除く：

- クロニジン
- 局所/眼科用に使われるイミダゾール誘導体および2018年監視プログラム*に含まれる興奮薬
- * プロピオン、カフェイン、ニコチン、フェニレフリン、フェニルプロパノールアミン、ピブラドール、シネフリン：これらの物質は2018年監視プログラムに含まれ、禁止物質とみなさない。

** カチン：尿中濃度 5 μ g/mL を超える場合は禁止される。

*** エフェドリンとメチルエフェドリン：尿中濃度 10 μ g/mL を超える場合は禁止される。

**** エビネフリン（アドレナリン）：局所用 [鼻、眼等] あるいは局所麻酔薬との同時投与は禁止されない。

***** プソイドエフェドリン：尿中濃度 150 μ g/mL を超える場合は禁止される。

S7. 麻薬

以下の物質は禁止される：

ブプレノフィン；デキストロモラミド；ジアモルヒネ（ヘロイン）；フェンタニルおよび誘導体；ヒドロモルフォン；メサドン；モルヒネ；ニコモルフィン；オキシコドン；オキシモルフォン；ペンタゾシン；ベチジン

※ JADA 訳注：このセクションには国内法の麻薬以外の物質が含まれる。

S8. カンナビノイド

以下の物質は禁止される：

- 天然カンナビノイド [大麻、ハシシュ、マリファナ等]
- 合成カンナビノイド [Δ9-テトラヒドロカンナビノール (THC) およびその他のカンナビノイド模倣物質等]

但し以下のものは除く：

- カンナビジオール

S9. 糖質コルチコイド

糖質コルチコイドの経口使用、静脈内使用、筋肉内使用または経直腸使用はすべて禁止される。以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

ベタメタゾン；ブデソニド；コルチゾン；デフラザコート；デキサメタゾン；フルチカゾン；ヒドロコルチゾン；メチルプレドニゾン；プレドニゾン；プレドニゾン；トリアムシノロン

特定競技において禁止される物質

P1. ベータ遮断薬

ベータ遮断薬は、以下の競技種目において競技会（時）に限って禁止される。指示がある場合は競技会外においても禁止される。

- アーチェリー（国際アーチェリー連盟：WA）*
- 自動車（国際自動車連盟：FIA）
- ビリヤード（全ての種目）（世界ビリヤード・スポーツ連合：WCBS）
- ダーツ（世界ダーツ連盟：WDF）
- ゴルフ（国際ゴルフ連盟：IGF）
- 射撃（国際射撃連盟：ISSF、国際パラリンピック委員会：IPC）*
- スキー/スノーボード（国際スキー連盟：FIS）ジャンプ、フリースタイル（エアリアル/ハーフパイプ）、スノーボード（ハーフパイプ/ビッグエアー）

- 水中スポーツ（世界水中連盟：CMAS）コンスタント・ウェイトアブネア（フィンありフィンなし）、ダイナミックアブネア（フィンありフィンなし）、フリーマージョンアブネア、ジャンプブルーアブネア、スピアフィッシング、スタティックアブネア、ターゲットシューティングおよびバリアブルウェイトアブネア

* 競技会外においても禁止される

以下の物質が禁止されるが、これらに限定するものではない：

アセブトロール；アルブレンロール；アテノロール；ベタキソロール；ビソプロロール；ブノロール；カルテオロール；カルベジロール；セリプロロール；エスモロール；ラベタロール；レボプロロール；メチプラノロール；メトプロロール；ナドロール；オクスプレノロール；ビンドロール；プロプラノロール；ソタロール；チモロール

2018年禁止表 主要な変更の要約と注釈

常に禁止される物質と方法（競技会（時）および競技会外）

禁止物質

S1. 蛋白同化薬

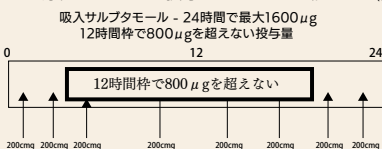
- ジヒドロテストステロンは、国際一般名 (INN) である (アンドロスタノン) へ改名した。
- 1-アンドロステロン (3 α -ヒドロキシ-5 α -アンドロスタ-1-エン-17-オン) は、外因性蛋白同化男性化ステロイド薬の例として追加した。
- LGD-4033 および RAD140 は、SARMs のさらなる例として追加した。

S2. ヘプタホルモン、成長因子、関連物質および模倣物質

- S2 を明確にするために再編した。
- ARA290I は、最新の文献が基準を満たさないことを示唆したため、このセクションから除外した。
- デサモレリン、ゴセレリン、ナファレリン、トリプトレリンは2.1の例として追加した。
- 成長ホルモン断片は2.3に AOD-9604 および hGH 176-191 を例として追加した。CJC-1293 は GHRH の例として、タビモレリンは GH 分泌促進物質の例として追加した。
- GHRP-1、-3、-4、-5 は GHRP の例として追加した。
- チモシン- β 4 およびその誘導体である TB-500 等は、禁止されている成長因子の例として追加した。
- コリルトに関しては、コリルトを含有するビタミン B12 は禁止物質ではない。

S3. ベータ2作用薬

- サルブタモールのいかなる12時間枠においてもサルブタモール投与量が800マイクログラムを超えないことを明確にするために投与パラメータを修正した (図参照)。



- ツロブテロールを例として追加した。
- 尿中閾値の記載を変更した。

S4. ホルモン調節薬および代謝調節薬

- クロミフェン (Clomifene) は INN で記載した。
- INNがないため、GW1516のIUPAC名である2-[2-メチル-4-[4-メチル-2-[4-トリフルオロメチルフェニル]チアゾール-5-イル]メチルチオ]フェノキシ酢酸を、他の名称であるGW501516と併せて記載した。
- Rev-Erb- α 作用薬であるSR9009をAMP活性化プロテインキナーゼ (AMPK) 物質の例として追加した。

S5. 利尿薬および隠蔽薬

- 2012年以降科学論文で発表されたグリセロールに関する情報、特にアスリート・バイオリジカル・パスポート (ABP) のパラメータとアスリートの血漿量に影響するグリセロール

ルの作用について考慮した結果、グリセロールによる効果は軽微であると考えられる。したがって、グリセロールを禁止表から除外した。

禁止方法

M2. 化学的および物理的操作

- M2.2に関しては、静脈内投与の許容量とタイミングは、6時間あたり50mLを超える点滴から12時間あたり計100mLを超える点滴へ変更した。禁止物質ではない治療薬 (例えば、鉄剤等) を安全に投与するために柔軟性をもたせた。
- 実臨床を反映して、「医療機関の受診過程」は「入院」へ変更し、「臨床的検査」は「臨床検査」へと明確にした。

M3. 遺伝子ドーピング

- 現状および新たな遺伝子操作技術をふまえて定義を修正した。

競技会（時）に禁止される物質と方法

S6. 興奮薬

- 1,3-ジメチルプサルアミンを例として追加した。この物質はいくつかの栄養補助食品で検出されている。

S8. カンナビノイド

- “スバイス、JWH-018、JWH-073、HU210等”のカンナビノイド様物質は、“Δ9-テトラヒドロカンナビノール (THC) およびその他のカンナビノイド模倣物質等である合成カンナビノイド等”へ変更した。合成カンナビノイドは、新薬として絶えず入手可能状況が変化している精神活性物質の主要クラスの1つである。以前に記載していた例は、現在使用は少ないが、継続して禁止である。“その他のカンナビノイド模倣物質”は、例を変更した。
- カンナビジオールは禁止物質ではない。合成カンナビジオールはその他のカンナビノイド模倣物質ではない。しかし、大麻植物から抽出されたカンナビジオールは様々な濃度のTHCを含む可能性がある。THCは禁止物質である。

S9. 糖質コルチコイド

- よく使用される糖質コルチコイドの例をより明瞭にするため追加した。

特定競技において禁止される物質

P1. アルコール

十分な検討と協議の結果、アルコールを禁止表から除外した。この変更の意図は、アルコール使用が問題となるいかなるスポーツのインテグリティや安全性を損なうものではなく、むしろこれらのスポーツにおいてアルコール使用を禁止する他の手段を認めるものである。この変更によって影響を受ける4つの国際競技連盟 (IF) は事前にルールを変更し、アルコール使用を禁止し、ルールを遵守しなかった競技者を適切に制裁する手順を導入するよう通知を受けている。こうした手続き管理によって、IFはそれぞれに適した規則や閾値を柔軟に適用できるようにする。国内アンチ・ドーピング機関は検査を行うことはもはや義務ではなく、適切に IF および国内競技連盟を支援できる。

P2. ベータ遮断薬

- 表示の整合性をとるために、P2ベータ遮断薬は、P1ベータ遮断薬にカテゴリーを変更した。

2017年監視プログラム*

以下の物質が2018年監視プログラムに掲載される：

1. 興奮薬：競技会（時）のみ：プロピオン、カフェイン、ニコチン、フェニレフリン、フェニルプロパノールアミン、ピブラドール、シネフリン
2. 麻薬：競技会（時）のみ：コデイン、ヒドロコドン、トラマドール
3. 糖質コルチコイド：競技会（時）（経口使用、静脈内使用、筋肉内使用または経直腸使用以外の投与経路） 競技会外（すべての投与経路）

4. 2-エチルスルファニル-1H-ベンゾイミダゾール (ベミチル)：競技会（時）および競技会外
5. ベータ2作用薬：競技会（時）および競技会外：ベータ2作用薬同士の組合せ

* 世界アンチ・ドーピング規程 (4.5)：“WADAは、署名当事者及び各国政府との協議に基づき、禁止表に掲載されていないが、スポーツにおける濫用のパターンを把握するために監視することを望む物質について監視プログラムを策定するものとする。”

2018年監視プログラム 主要な変更の要約と注釈

監視プログラム

スポーツにおける乱用を評価するために以下の物質を追加した：

- 競技会（時）および競技会外における2-エチルスルファニル-1H-ベンゾイミダゾール (ベミチル)

- 競技会（時）におけるヒドロコドン
ミトラギニンおよびデルミサルタンは使用状況に対する必要な情報が得られたため、監視プログラムから除外した。

スポーツ安全保険[®]

対象となる事故

団体活動中の事故/往復中の事故



4名以上の団体・グループで
ご加入ください。

保険期間

平成30年4月1日午前0時から
平成31年3月31日午後12時まで

加入区分・掛金・補償額

加入 対象者	補償対象となる団体活動	加入 区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	入院日額 (1日目から/ 180日限度)	通院日額 (1日目から/ 30日限度)		
子ども (中学生 以下) ※特別支 援学校 高等部 の生徒 を含む	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800 円	2,000 万円	3,000 万円	4,000 円	1,500 円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人 1億円)	突然死 (急性心不全 脳内出血 など)
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段：団体活動中およびその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450 円	2,100 万円 熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒の 場合、保険金額はA1区分と同様	3,150 万円	5,000 円	2,000 円	対人・対物賠償 合算1事故 5億 500万円 (ただし、対人賠償は 1人 1億500万円)	葬祭費用 180万円
				100 万円 熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒は 対象となりません。	150 万円	1,000 円	500 円	対人・対物賠償 合算1事故 500万円	対象外
大人 (高校生 以上)	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判	C 64歳以下	1,850 円	2,000 万円	3,000 万円	4,000 円	1,500 円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人 1億円) ⚠ 自動車事故に よって賠償責任 を負った場合は、 補償の対象とな りません。	突然死 (急性心不全 脳内出血 など) 葬祭費用 180万円
	※右記年齢の判断は、「平成30年4月1日」と「掛金の支払い手続きを行う日」のいずれか遅い日の年齢を基準とします。	B 65歳以上	1,200 円	600 万円	900 万円	1,800 円	1,000 円		
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体員の送迎 ※スポーツ活動を行う場合は対象となりません。	A2 A2区分は 65歳以上 の方も加入 できます。	800 円	2,000 万円	3,000 万円	4,000 円	1,500 円		
全年齢	危険度の高いスポーツ	D	11,000 円	500 万円	750 万円	1,800 円	1,000 円		

年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。

公益財団法人 **スポーツ安全協会** 熊本県支部 〒861-8012 熊本市東区平山町2776
県民総合運動公園 陸上競技場
(熊本県体育協会内)



TEL **096-213-9015** 電話受付時間 午前8時30分～午後5時15分(土、日、祝日を除く。)

保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。
※インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全保険 **検索**

この広告はスポーツ安全保険の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉
東京海上日動火災保険株式会社
担当課 公務第2部 文教公務室
TEL 03-3515-4346(平日9:00～17:00)
〈共同引受保険会社(平成30年4月予定)〉
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜
大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保